

能登地域におけるICTインフラの活用に関する調査検討会

ワーキンググループ活動報告書 【概要版】

平成 20 年 10 月

1. 目的

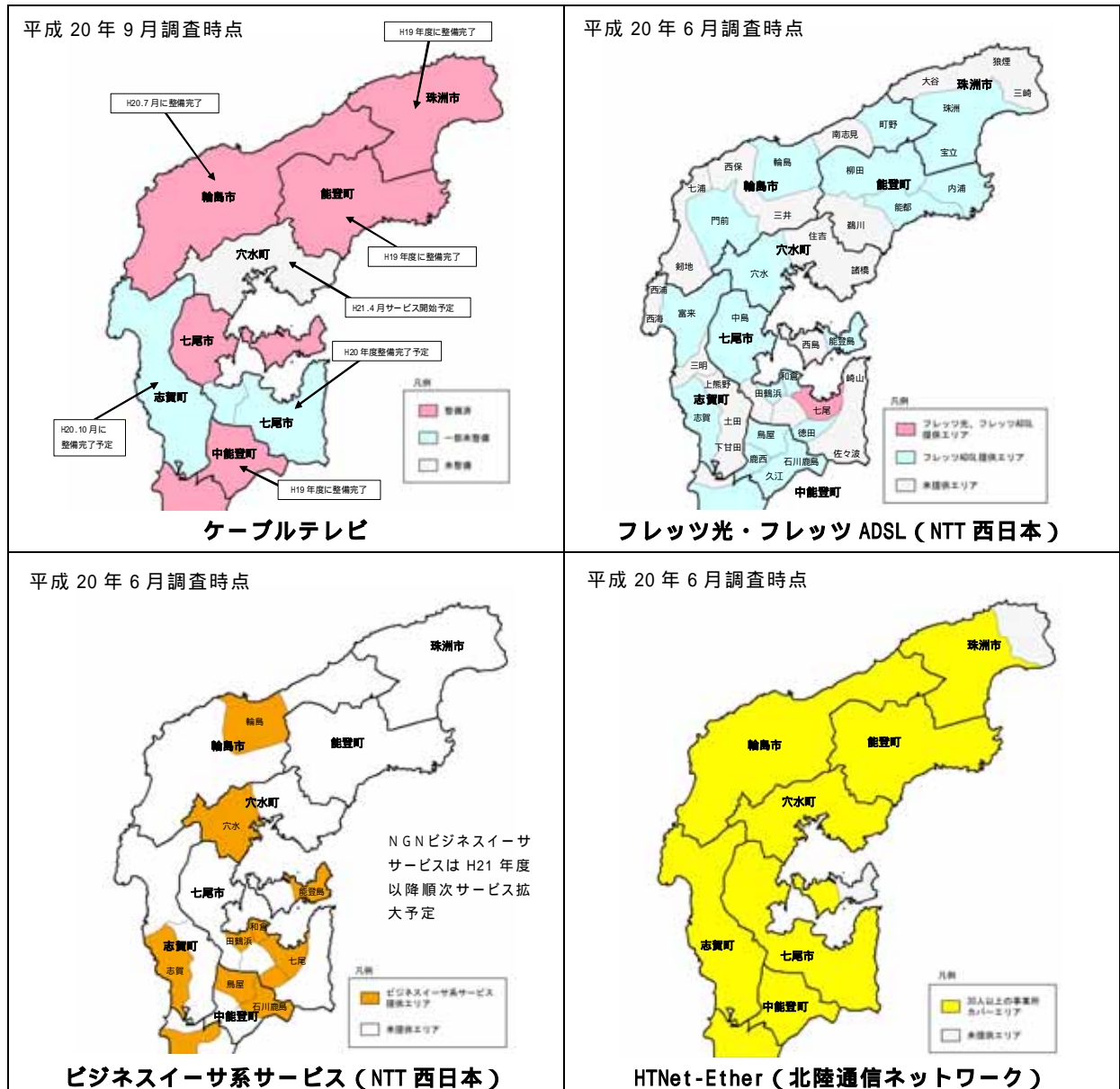
ケーブルテレビのサービスの質を高める方策の一つとして、自主番組の充実が考えられるが、そのための課題・方策等について検討を行うことを目的とする。さらに、構成員の間でその結果を共有することにより、関係者の意識・能力の向上を図る。

2. 能登地域におけるICTインフラ整備状況及び自主番組の現状

(1) ICTインフラ整備状況

能登7市町のうち、珠洲市、輪島市、中能登町、能登町の4市町は既にケーブルテレビ網の整備を完了しており、残りの3市町についてもケーブルテレビ網の整備が進み、平成21年4月には全市町でケーブルテレビが開局される予定である。

また、インターネットの整備状況については、能登7市町のすべてのケーブルテレビ局でインターネットサービスを提供するほか、ケーブルテレビ以外のブロードバンドサービスについても整備が進んでいる。



(2) 自主番組の制作状況

能登7市町のうち、ケーブルテレビが開局している6市町では、既に自主番組の制作を行っている。また、穴水町についても、ケーブルテレビ開局後、自主番組の制作を予定している。

| 市町 | 自主番組 | 制作状況 |
|------|------|---|
| 七尾市 | | 放送局のある能登島センターのスタッフ8名で、地域情報番組「ニコニコちゃんねる」や「七尾の祭り」等の自主番組の制作を行っている。 |
| 輪島市 | | 本年4月よりサービスを開始した輪島市では、現在、自主番組は文字放送のみで、6月に議会中継を予定している。今後、運用が進めば、コミュニティ番組等の制作を行いたいと考えている。 |
| 珠洲市 | | 民設民営方式のため、自主番組の制作は、基本的に民間会社に委託しているが、週に1度更新される「行政ニュース」については、珠洲市の職員が制作している。 |
| 志賀町 | | 本年6月よりサービスを開始した志賀町では、健康・農林・環境等の6つの基本方針をコンセプトに自主番組を制作している。 |
| 中能登町 | | 去年まではスタッフ4名で運用し、自主番組のほとんどが委託であったが、本年度からスタッフが9名となり、いくつか自主番組の制作を始めたところである。 |
| 穴水町 | - | 来年4月よりサービス開始予定の穴水町では、民設民営方式で整備を進めているため、番組制作も民間会社に委託予定であるが、町としても情報の提供等を行い、番組制作に協力していきたいと考えている。 |
| 能登町 | | 能登町では、毎日更新する「のとほっとらいん」等の自主番組の制作を行っている。 |



「ニコニコちゃんねる」
(七尾市)



「かがやきテレビ」
(志賀町)



「のとほっとらいん」
(能登町)



「すずニュース」
(珠洲市)



「なかのと四季物語」
(中能登町)

3 . 自主番組充実のための意義・課題・方策

(1) 自主番組の意義

地上デジタル放送やBS・CS放送など、競合するメディアが一層拡充する中で、ケーブルテレビの自主番組の制作・放送を行う意義は、地域に特化した様々な分野の情報を提供することにより、地域住民の暮らしを豊かにし、活力のあるまちづくりに貢献できることにあり、地域サークル・イベント、健康・福祉、産業・経済、議会中継などのきめ細やかな情報で加入者を満足させることが求められる。

(2) 自主番組充実のための課題

自主放送充実のための課題としては、人材・機材の充実、情報源の確保、肖像権や議会中継への対応などが挙げられ、財政的な問題や組織上の改善が進まなければ、自治体単位で自主番組を充実させることが困難な状況にある。

(3) 自主番組充実のための方策

自主番組の意義及びケーブルテレビ各局の課題を踏まえると、自主放送充実のための方策としては、「局所的な地域を限定しない、共通して楽しめるコンテンツの制作」、「いつでも再視聴できる番組のアーカイブ化」、「地域活性化のための地元商店街等のタイアップ番組の制作」などが挙げられる。

ケーブルテレビ各局が抱える課題を克服するための方策として、各局の自主番組を統合・再編集した広域情報番組の制作・放映（自主番組の相互流通）が検討された。

4 . 能登地域内における自主番組の相互流通について

(1) 能登地域内における自主番組の相互流通の意義・課題

能登地域内における自主番組の相互流通の意義・課題としては、以下のような意見が挙げられた。

| | |
|-----|--|
| 意 義 | <ul style="list-style-type: none">・能登全体の情報の共有化による市町間の交流促進・生活圏（通勤・通学圏）における情報ニーズの拡大・商店街等の地域産業の活性化支援 |
| 課 題 | <ul style="list-style-type: none">・持ち回り制による制作負荷の増加・フォーマットの統一化（ナレーション、放送時間等）・各局の制作能力のばらつき・費用分担・制作責任の明確化 |

(2) 能登半島ヘッドラインの制作・放映及び評価

能登7市町が、それぞれの市・町の情報を持ち寄り、試験用広域情報番組「能登半島ヘッドライン」を共同制作するとともに、ケーブルテレビ各局の自主番組枠での放映を実施した。また、能登半島ヘッドラインに対する視聴者の満足度及びニーズを調査するため、各局の視聴者に対するアンケート調査を実施した。

< 能登半島ヘッドライン制作内容 >

| コンテンツ : 「能登半島スペシャル ~能登はまつりの玉手箱~」 | | |
|----------------------------------|----------------------|-------|
| 映像担当 | 内容 | 時間 |
| 七尾市 | オープニング | 1:25 |
| 珠洲市 | 飯田燈籠山祭り / 宝立七夕キリコまつり | 3:35 |
| 輪島市 | 曳山祭 / 輪島大祭 | 1:00 |
| 穴水町 | 長谷部まつり | 1:48 |
| 能登町 | あばれ祭 | 1:33 |
| 志賀町 | 西海祭り | 1:41 |
| 七尾市 | 向田の火祭 / 石崎奉燈祭 / お熊甲祭 | 3:14 |
| 中能登町 | 石動山開山祭 | 2:35 |
| 七尾市 | エンディング | 0:29 |
| 合計 | | 17:20 |

| コンテンツ : 「能登半島インフォメーション」 | | |
|-------------------------|--------------------------------------|-------|
| 映像担当 | 内容 | 時間 |
| 七尾市 | オープニング | 1:12 |
| 輪島市 | 輪島かにかまつり / そばの市 / 千枚田結婚式 / ゆく年くる年 | 2:36 |
| 中能登町 | 能登王墓の出土品展 | 3:04 |
| 能登町 | JPTA 能登国際女子オープンテニス 2008 | 1:40 |
| 珠洲市 | 蛸島キリコ祭り / カフェライブスペシャル | 3:18 |
| 志賀町 | 第 16 回大念寺子供太鼓打競技大会 / 第 76 回県下太鼓打競技大会 | 1:30 |
| 七尾市 | エンディング | 0:28 |
| 合計 | | 13:48 |

< 視聴者による能登半島ヘッドラインの評価 >

- ・ 能登半島ヘッドラインの放映内容については、約 9 割の視聴者が「おもしろかった」と回答しており、視聴者の満足度としては非常に高い結果となった。
- ・ 満足した理由で最も多かった回答は「他の地域の情報を見ることができた」であり、視聴者が在住市町以外の情報を求めていることがわかった。
- ・ 番組の有益性については、9 割以上の視聴者が「有益だと思う」と回答しており、中には「おもしろくはなかった」が「有益性は認める」という視聴者もみられ、満足度よりもさらに高い評価を得ていた。
- ・ 能登半島ヘッドラインは、「2 週間に一度」または「1 ヶ月に一度」を適当と考える視聴者が全体の約 7 割を占めていた。

< ケーブルテレビ各局担当者の意見・感想 >

番組の有益性については、各局とも視聴者と同様の認識を示していたが、今後の番組継続については、持ち回りで番組制作することが難しいと判断するケーブルテレビ局もあった。また、実際に番組を製作したことにより、編集方法等に問題があることが明らかとなったので、これらを踏まえて実用化に向けたルールづくりを検討する必要がある。

< 能登半島ヘッドラインの実現に向けて >

番組の有益性について、高い評価を得た能登半島ヘッドラインではあるが、今後、継続番組として運用していくためには、編集担当局の負担をさらに減らす方法を検討するべきと考える。また、番組の制作姿勢としては、地上波放送等と競い合うような完成度の高い番組を作ろうとするのではなく、自主放送の持ち味の出た手間のかからない番組作りから始めることが望ましい。さらに、将来的には自主放送のHD化に連携して、データ放送とリンクさせた番組放映や視聴者へのアンケート調査によるコンテンツの拡充などに取り組むことが望ましい。

5. 能登地域以外との自主番組の相互流通について

(1) 能登地域以外との自主番組の相互流通の意義・課題

能登地域以外との自主番組の相互流通の意義・課題としては、以下のような意見が挙げられた。

| | |
|----|--|
| 意義 | <ul style="list-style-type: none">・他地域との連携強化・連帯感の創出・地域間の観光交流の促進・ケーブルテレビ局間の連携による情報の共有化・番組交換による制作力、技術力の向上 |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none">・番組中のCMや提供スポンサー等の取り扱い・再編集作業などの制作負荷・映像・音声データフォーマットの統一化・広域流通による情報の漏洩・セキュリティ対策 |

(2) 相互交流等の実施

能登地域以外との自主番組の相互流通において、実用性の高い番組として長野県・新潟県のケーブルテレビ局が共同制作している自主番組「信越トライウォーク」や「石川県議会中継」の試験運用等が検討された。

a) 長野県・新潟県との自主番組の相互流通の実施

長野県・新潟県との自主番組の相互流通として、「信越トライウォーク」を能登地域で放映するとともに、「能登半島ヘッドライン」を長野県・新潟県のケーブルテレビ局で放映する相互流通を実施した。また、相互流通の実用性を検証するため、能登地域の視聴者に対するアンケート調査を実施した。

b) 石川県議会中継の実施

能登地域以外の実用性の高いコンテンツとして、石川県議会中継の実施を検討した結果、ケーブルテレビの伝送路の問題や取材スタッフ等の関係から生中継の実現は難しいため、石川県議会を録画で配信し、その有用性・問題点等を検証することとした。

ただし、県議会中継の実施にあたり、撮影方法や許可申請など、いくつか解決すべき問題があるため、これらを石川県議会事務局と調整の上、実施時期を決定する。

(3) 長野県・新潟県との自主番組の相互流通の評価

< 信越トライウォーク放映内容 >

| 区分 | 内容 | 時間 |
|-----------|----------------------------------|-------|
| 全 体 | オープニング | 1:57 |
| 長野県 木島平村 | でかい秋みつけた / みゆき野の風景画展作品募集 | 3:16 |
| 新潟県 魚沼市 | 結の灯り / 震災メモリアルライブ | 3:14 |
| 長野県 野沢温泉村 | 夕陽散歩 | 2:02 |
| 新潟県 佐渡市 | 民話の宝庫・佐渡 / 新潟県民話語り佐渡大会 | 2:59 |
| 新潟県 上越市 | 上杉戦国物語展 | 3:13 |
| 長野県 飯山市 | 信越トレイル全線開通記念イベント / 辰巳芳子さん講演会と昼食会 | 2:54 |
| 長野県 中野市 | ぶどうまつり / ぶどうの紹介 | 3:33 |
| 新潟県 糸魚川市 | ぶどうまつり / 翡翠まつり | 2:49 |
| 全 体 | エンディング | 1:00 |
| 合 計 | | 26:57 |

| | | | | |
|---|---|---|--|---|
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

< 視聴者による信越トライウォークの評価 >

- ・ 信越トライウォークに対する視聴者の満足度は、能登半島ヘッドラインと同様に高く、域外の情報に対する視聴者のニーズがあることがわかった。また、番組の作り方に対して評価する視聴者も多く、今後の広域情報番組づくりの参考になるものと考えられる。
- ・ 番組の有益性については、「有益だと思う」と回答した視聴者が約8割で、能登半島ヘッドラインに比べると約1割減少しているが、長野県・新潟県という生活圏外の情報という点を考慮すると、十分有益な番組であったと評価できる。また、遠方の視聴者に対する配慮（地理的に理解できるようなマップの挿入や名称のふりがな）を実施することにより、さらなる評価の向上が期待できる。

< ケーブルテレビ局担当者の意見・感想 >

信越トライウォークの番組内容・構成等については、各局とも高い評価を示しているが、番組の有益性については、番組内容の充実を期待するケーブルテレビ局と遠方のローカル情報に対するニーズの低さを懸念するケーブルテレビ局とに意見が分かれた。また、実際に信越トライウォークを編集・放映したことにより、番組交換方法等に問題があることが明らかとなったので、番組データを保管するサーバの運用等を検討する必要がある。

6.まとめ

(1)能登地域におけるICTインフラ及び自主番組の現状について

能登地域におけるケーブルテレビの整備状況については、珠洲市、輪島市、中能登町、能登町の4市町では既にケーブルテレビ網の整備を完了しており、残りの3市町についても順次整備が進み、平成21年4月には能登地域の全エリアの整備が完了する。また、インターネットの整備状況については、能登7市町のすべてのケーブルテレビ局でインターネットサービスを提供するほか、ケーブルテレビ以外のブロードバンドサービスについても整備が進んでいる。

能登地域のケーブルテレビ各局では、7市町のうち、6市町で自主番組を制作しており、来年4月に開局する穴水町も自主番組を制作する予定である。また、現在輪島市は文字放送のみであるが、将来的にはコミュニティ番組等の制作に取り組む意向がある。

(2)自主番組充実のための意義・課題・方策について

ケーブルテレビの自主番組の制作・放送を行う意義としては、地域に特化した情報を提供することによって住民の暮らしやまちづくりに貢献することなどが考えられるが、各局の現状としては、財政的な厳しさや人員・組織上の問題などを抱えており、自治体単位で自主番組を充実させることが困難な状況にある。

これらの現状を踏まえ、自主番組充実のための方策については、ケーブルテレビ各局で共通して楽しめるコンテンツの制作として、各市町の自主番組を統合・再編集した広域情報番組の制作・放映（自主番組の相互流通）が最も有効であると考えられる。

(3)能登地域内における自主番組の相互流通について

本ワーキンググループでは、ケーブルテレビの自主番組充実のための方策として挙げられた「能登地域内における自主番組の相互流通」の実用性を検証するため、各市町の協力の下、試験用広域情報番組「能登半島ヘッドライン」を制作・放映し、視聴者及びケーブルテレビ各局担当者から一定の評価を得ることができた。

ケーブルテレビ各局のそれぞれの事情から、今後、継続して「能登半島ヘッドライン」のような番組を制作することは難しいのではないかと意見も聞かれるが、経験や人員の少ないケーブルテレビ局の負担を軽減するような、例えば、画像や説明文を入れればすぐに番組としてできあがるような番組フレームを決定しておくことなどの制作上のルールを確立することにより、能登エリアを対象とした広域情報番組の共同制作は十分可能である。早急に本格的な体制構築を進めたい。

(4)能登地域以外との自主番組の相互流通について

本ワーキンググループでは、能登地域以外との自主番組の相互流通として、長野県・新潟県との相互流通や石川県議会の中継が検討された。

このうち、長野県・新潟県のケーブルテレビ局が制作・放映している「信越トライウォーク」と本ワーキンググループで制作した「能登半島ヘッドライン」の相互流通を実施し、能登地域の視聴者から一定の評価を得ることができた。また、能登地域のケーブルテレビ各局担当者は、「信越トライウォーク」の番組内容・構成等について高く評価しており、番

組コンテンツとしての魅力とともに、こうした番組交換を行うことによる自らの制作力・技術力の向上にも期待したいとの評価であった。

長野県・新潟県だけでなく、今後、北陸地域全体を対象とした相互交流を本格的に進めていくために検討すべき点としては、地理的に必ずしも詳しくない遠方の視聴者でも番組に入り込みやすくなる工夫（マップや文字解説など）を加えることなどが挙げられる。お互いの距離感を縮めて、さらに多くの視聴者に興味を持ってもらうことにより、観光交流の促進等にも貢献できるものとする。